

質問者 志賀^{しが}世^せ怜^{れん} 議員（23番）

1 ICT機器の今後の活用について

ただいまの志賀^{しが}世^せ怜^{れん}議員のご質問にお答え申し上げます。

ICT機器の今後の活用について、であります。コロナ禍の令和3年度に、1人1台端末と通信ネットワークを整備したことにより、学校ではパソコンや電子黒板などが日常的に活用され、授業の様子が大きく変わりました。本年度の全国学力・学習状況調査によると、本市の中学3年生は、授業で「ほぼ毎日」活用していると答えた生徒が26.9パーセントで、「週3回以上」と合わせると71.3パーセントに上り、国の平均を10ポイント上回る活用頻度になっております。一方、1人1台端末は、端末の重さや使い方、破損の問題などを理由に、日常的に持ち帰っている学校は多くありません。しかし、長期休業中の課題や、学校に通うことのできない児童生徒が、オンラインで授業に参加する際に活用される実践もあります。また、今年度の

夏休みに1人1台端末を活用して国際交流事業オンライン・プログラムを実施しましたが、フィリピンの中学生と本市の中学生115名が、互いの生活や文化について活発な意見交流を図るなど、時間や距離に制限されないというICTの強みを活かした学びも実現しているところではあります。

今後におきましても、授業を中心に、より効果的に活用して学力向上を図るとともに、校外に出掛ける学校行事や家庭学習等、児童生徒の主体的な学びにつながるような取組を工夫してまいりたいと考えています。

以上申し上げます。志賀^{しが} 世^せ 怜^{れん}議員のご質問に対する答弁とさせていただきます。